

## 大蔵流茂山千五郎家の狂言師の松本薫さんによる、初心者のための狂言講座 狂言の楽しみ方、扇を使ったワークショップを体験します。

### ●大声で笑えば、みんな元気！狂言は笑いの演劇です

狂言は室町時代の初めに「能」とともに形成された日本で最も古い演劇です。「能」が悲劇的な歌舞劇なのに対し、狂言は喜劇的なセリフ劇です。張りつめた「能」の合間に笑いで緊張をほぐす、サーカスの道化師のような役割です。



### ●お豆腐のような狂言

茂山千五郎家では「お豆腐のような狂言」という言葉が語り継がれています。その昔、能、狂言が一部の特権階級のものだった時代、二世千作は呼ばれたらどこでも狂言を演じました。「お豆腐は高価ではないが、味つけによって高級にも庶民の味にもなる。どんな所でも喜んで頂ける狂言を演じればよい。」と言い、それ以来、いつの世もどなたからも愛され飽きのこない、そして味わい深い「お豆腐狂言」が家訓です。

### ●狂言を演じてみる

茂山千五郎家は狂言の楽しさを伝えるために、日本のみならず世界各地で公演やワークショップを行っています。また、日本全国各地で狂言教室、学校で鑑賞教室を開催しています。日本の笑いの文化、演劇の源である狂言を体験してみませんか。茂山家の熟練の狂言師がレクチャーします。



#### 狂言師松本薫プロフィール

1951年東京生まれ。  
1974年二世千五郎師に入門。  
京都能楽養成会終了。  
1993年「釣狐」披く。  
茂山狂言団として欧州・北米南米・ロシア・東南アジア・中国等世界各地で公演・ワークショップを行う。  
2004年重要無形文化財総合指定の認定を受ける。  
2006年京都府文化功労章受章。  
新作狂言作品「姫の婿取り」「はだかの殿様」執筆。  
大蔵流狂言方。京都能楽会会員。能楽協会会員。  
日本能楽会会員。三笑会同人。



#### 文化財機那サフラン酒本舗

長岡市摂田屋地区にある、機那サフラン酒本舗は、明治から昭和初期にかけて普請が重ねられ、屋敷構えを整えてきました。現存する建物・庭園他、屋敷構え全体に文化財的価値が認められています。大正15年に建造された鍔絵蔵は、極彩色の恵比寿・大黒、干支の動物と植物、数々の霊獣を描き、日本一の鍔絵と認められ、国登録有形文化財です。昭和6年に建てられた離れ座敷は、桐の天井、大きな樫の床板など、長大材・巾広材、床の間には銘木を大胆に多用するなど、近代和風建築の粋を凝らした建物です。



※ワークショップ参加の際は動きやすい服装、汚れてもいいすべり止めの無い靴下か足袋をお持ちください。狂言の扇はご用意します。(ワークショップは7月3日(木)アオーレ会場のみ)